

多発性骨髄腫 (再発・難治性) 治療期1
PBD療法

コース目

患者ID: @PATIENTID

患者氏名: @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
HEIGHT01_Do	WEIGHT01_Do	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース: 21日間 目標コース回数: 8コース

使用薬剤: パノビノスタット: ファリーダックカプセル10mg、15mg
 ボルテゾミブ: ボルテゾミブ 3mg/V
 デキサメタゾン (DEX): レナデックス錠4mg

注意: 適正使用ガイドに準じる

- ※ 末梢神経障害、間質性肺炎の定期的チェック。
- ※ 発症時は用法用量に従い減量～中止。
- ※ QT延長に注意し、異常が認められた場合は適切な処置を行うこと。
- ※ 骨髄抑制に注意し、異常が認められた場合は適切な処置を行うこと。
- ※ 消化器症状に注意し、異常が認められた場合は適切な処置を行うこと。
- ※ 低血圧に注意し、異常が認められた場合は適切な処置を行うこと。

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
ファリーダックカプセル	20 mg/body		20	1, 3, 5, 8, 10, 12
ボルテゾミブ	1.3 mg/m ²	#VALUE!		1, 4, 8, 11
レナデックス錠 (DEX)	20 mg/body		20	1, 2, 4, 5, 8, 9, 11, 12

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1, 4, 8, 11 1月1日 (土) 1月4日 (火) 1月8日 (土) 1月11日 (火)

0:00 ① 生理食塩液 50mL + デキサート 6.6mg
15分で点滴静注

0:15 ② 生理食塩液 50mL + ボルテゾミブ 0.0mg
※調製時は、生理食塩液20mLを抜き。全量を30mLとする。
全開(3~4分)で点滴静注

0:30 ③ 生理食塩液 50mL
フラッシュ

Day1, 3, 5, 8, 10, 12; 1月1日 (土) 1月3日 (月) 1月5日 (水)

1月8日 (土) 1月10日 (月) 1月12日 (水)

内服

ファリーダックCap10mg

2 Cap

ファリーダックCap15mg

0 Cap

Day1, 2, 4, 5, 8, 9, 11, 12;

1月1日 (土) 1月2日 (日) 1月4日 (火) 1月5日 (水)

1月8日 (土) 1月9日 (日) 1月11日 (火) 1月12日 (水)

内服

レナデックス錠 4mg

5 錠

REFERENCE

Jesus F San-Miguel, Vania T M Hungria, Sung-Soo Yoon et al; Lancet Oncol 2014;15:1195-206

Panobinostat plus bortezomib and dexamethasone versus placebo plus bortezomib and dexamethasone in patients with relapsed or relapsed and refractory multiple myeloma: a multicentre, randomised, double-blind phase 3 trial

2015年12月度化学療法プロトコル審査委員会承認: 2015年12月14日